

1 相談支援ファイルとは？

「相談支援ファイル」は、発達面の課題により支援が必要な方やそのご家族が、生涯にわたって継続的で効果的な支援を受け、安心して安全な生活を送ることを願って生まれました。

支援を求めらるご本人の生活の様子や、支援状況を記録することによって、

- ・ ご本人の発達を客観的・長期的に把握すること
- ・ ご本人とご家族が関係機関からより良い支援を受けること
- ・ 支援に関わる機関どうしの、連携や引き継ぎをなめらかにすること

を目的としています。



2 相談支援ファイルの基本的な考え方

○ 原則として、ご本人・保護者・またはこれに代わる立場の方の意思で作成し、保管・管理をしてください。

- ・ ファイルに記入するのはご本人やご家族ですが、支援機関も作成に協力します。

○ すべてのページをもれなく記入する必要はありません。

- ・ ご本人の年齢に応じて支援に役立つと思われる個所に記入してください。
- ・ 必要に応じて、ページや欄を増やしたり、必要でない情報は外したりしてください。

○ ご本人の様子や受けてきた支援の内容が具体的にわかると、適切な支援につながります。

- ・ 得意なこと、好きなこと、よいところ、成長が見られるところ、うまくいった支援方法などもわかると支援に役立ちます。

3 個人情報保護について

ファイルには、本人や家族（保護者）の個人情報や、支援者・関係機関にかかわる情報が多く含まれていますので、プライバシーに十分配慮して慎重に取り扱ってください。

※ここでいう保護者には、親権者や後見人のほか、施設入所者にとっての施設の管理責任者に準ずる立場で本人の支援を行っている方も含まれます。

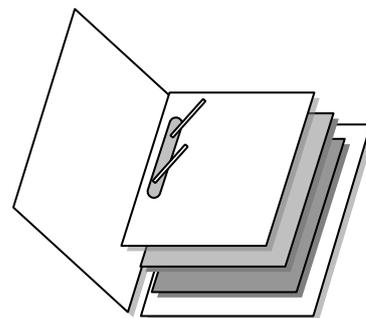
4 相談支援ファイルの記入にあたって

(1) 「相談支援ファイル」の構成

○「相談支援ファイル」は2つのセット

- ① プロフィール・ブック
- ② ステージ・ブック（下記の3種類）

* 母子手帳を一緒に保管することをおすすめします。



○スタートする種類が選べる「ステージ・ブック」

利用を始めるときの年齢や状況などに合わせて、以下の3種類を用意しています。必要なものを選んでファイルにとじてください。

キッズ・ブック	幼児期の支援情報（およそ0～5歳）
ジュニア・ブック	学齢・学生期の支援情報（およそ就学から学校卒業まで）
シニア・ブック	社会人の支援情報（およそ学校卒業後から）

○自由に組み合わせられる「ステージ・ブック」

使わないシートを、はずすことができます。

検査結果や参考資料も一緒にファイルにとじることができます。

(2) 「相談支援ファイル」の内容

①プロフィール・ブック

ページ概要	詳細	
プロフィール	氏名・性別・生年月日・連絡先・家族構成・診断名・取得手帳など	
生育歴	母の状況（妊娠中・出産時など） 子の状況（出生時・健診歴・乳幼児期の様子など） ※母子健康手帳を一緒に保管すれば、記入は不要	
医療の記録	医療情報	基礎疾患・既往歴・かかりつけ医療機関・特別処置・体質など
	受診記録	受診歴・常用薬など
福祉用具	導入時期・種類・名称・目的・導入までの経過・操作方法・寸法など	
所属の記録	所属歴1	乳幼児期から学校卒業までの所属先
	所属歴2	勤務先・事業所・職業訓練校等の日中活動の場

②ステージ・ブック

ページ概要	詳細	キッズ	ジュニア	シニア
記録	保護者または本人の記録ページ （キッズ・ジュニアは1歳ごと、シニアについては生活場面ごと）	○	○	○
	支援機関利用の記録	共通書式		
	サポート・ネットワーク			
アセスメント	・ 生活における支援の現状と希望 ・ 身体的側面および精神的側面 ・ 日常生活における自立状況	—	—	○